

第43回 たいとうたきぎのう

# 台東新能

令和5年9月5日(火)

開場:午後5時  
開演:午後5時45分

※開演直前は大変混み合いますので、  
時間に余裕をもってお越しください。

会場:金龍山浅草寺境内  
(雨天時:台東区立浅草公会堂)

下町・浅草の夜に浮かぶ、幽玄な世界をお楽しみください。

入場料(全席指定) S席 5,000円  
A席 4,000円  
(未就学児入場不可)

入場券発売日 令和5年7月12日(水)午前9時より

入場券販売場所

・カンフェティ

WEB <https://www.confetti-web.com/>

電話 0120-240-540 (平日午前10時~午後6時)

※セブンイレブンでの発券手続きが必要になります。

※電話購入では、座席選択はご利用できません。予めご了承ください。

・台東区立浅草公会堂窓口(午前9時~午後5時)

<火入れ式> 木遣り・纏振り 第五區木遣り会

能	◆半	じとみ 薨	観世 喜正
狂言	◆附	ぶ 子	山本泰太郎
能	◆船辨慶	ふな べん けい ぜんごのかえ 前後之替	坂 真太郎

終演後、フォトセッションタイム

・上演中の写真撮影及び録音、録画は固くお断りいたします。  
・屋外での開催となりますので、熱中症対策や虫刺され対策を各自でお願いいたします。  
・今後の状況により、感染対策にご協力いただく場合もございます。

写真:能『半薨』観世喜正(撮影:青木信二)

共催:台東区  
協賛:どぜう 飯田屋/天麩羅 中清/株式会社 宮本卯之助商店  
協力:金龍山浅草寺/浅草花やしき

主催・お問合わせ 公益財団法人 台東区芸術文化財団

TEL 03-5828-7591

<https://www.taitocity.net/zaidan/>



# 第四十三回 台東薪能

令和五年九月五日（火）午後五時四十五分開演  
於・金龍山浅草寺境内（雨天時 浅草公会堂）

演目の解説 児玉 信（能楽評論家）

（火入れ式） 木遣り・纏振り 第五區木遣り会

## 能 番 組

前シテ（里女） 観世 喜正  
後シテ（夕顔女）

ワキ（僧） 館田 善博

間（所ノ者） 山本泰太郎

大鼓 柿原 孝則  
小鼓 鷗澤洋太郎 笛 一噌 隆之

## 半 部

後見 桑田 貴志 奥川 恒成 永島 充  
遠藤 喜久 地謡 中森健之介 奥川 恒治  
小島 英明 佐久間二郎 中所 宜夫 鈴木 啓吾

## 附 子

シテ（太郎冠者） 山本泰太郎  
アド（主人） 若松 隆  
アド（次郎冠者） 山本凜太郎

## 狂 言

鈴木 啓吾

## 能 能

子方（判官源義経） 坂 瞳子

前シテ（静） 坂 真太郎  
後シテ（知盛ノ怨霊）

ワキ（武蔵坊弁慶） 森常好改メ 宝生 常二  
ワキシレ（判官ノ従者） 梅村 昌功

間（船頭） 山本 則孝

大鼓 柿原 弘和 太鼓 小寺真佐人  
小鼓 鷗澤洋太郎 笛 一噌 隆之

## 船 辨 慶

前後之替

後見 永島 充 金子仁智翔 小島 英明  
奥川 恒治 地謡 石井 寛人 鈴木 啓吾  
桑田 貴志 中森健之介 遠藤 喜久 佐久間二郎

終演予定 午後八時五十分

### 【演目のあらすじ】 能楽評論家 児玉 信

#### 能 『半部』

『源氏物語』夕顔巻に描かれた都五条あたりでの光源氏と夕顔の出会いと、夕顔の源氏への思慕を、二場に脚色しています。

紫野雲林院で夏のあいだ座禅修行をしていた僧が、修行の終わりに当たって仏に供えた花々の中から色よい花を選び立花供養を行っている時、黄昏どきに目の前で白い花が開きます。僧が思わず「何の花を生けたのだったか」とつぶやくと「三世の仏に花を捧げたい」と言いつつ白い花を手にした里女が現れて、「それは夕顔」と教え花陰に消えます。里女は、実は光源氏に愛された夕顔君の亡霊でした。やがて古の姿を思い出の半部屋の中に現れた夕顔君は、源氏との馴初めと儂い別れを回想し、優美な舞を舞って消えていきます。

#### 狂言 『附子』

附子はトリカブトという植物の根から採った毒物のこととす。

外出する主人は太郎冠者・次郎冠者に壺を預け、「中には附子が入っている。吹く風に当たただけで滅却（死ぬ）する猛毒だ」と脅した上で、よく見張りをするように言いつけて出かけます。はじめは戦々恐々として遠くから壺を見ていた二人ですが、そのうち怖いもの見たさの思いが募って、何とか中を覗こうと知恵を絞ります。

二人が首尾よく壺の中身を見ることができるところかどうかが、見てのお楽しみとす。

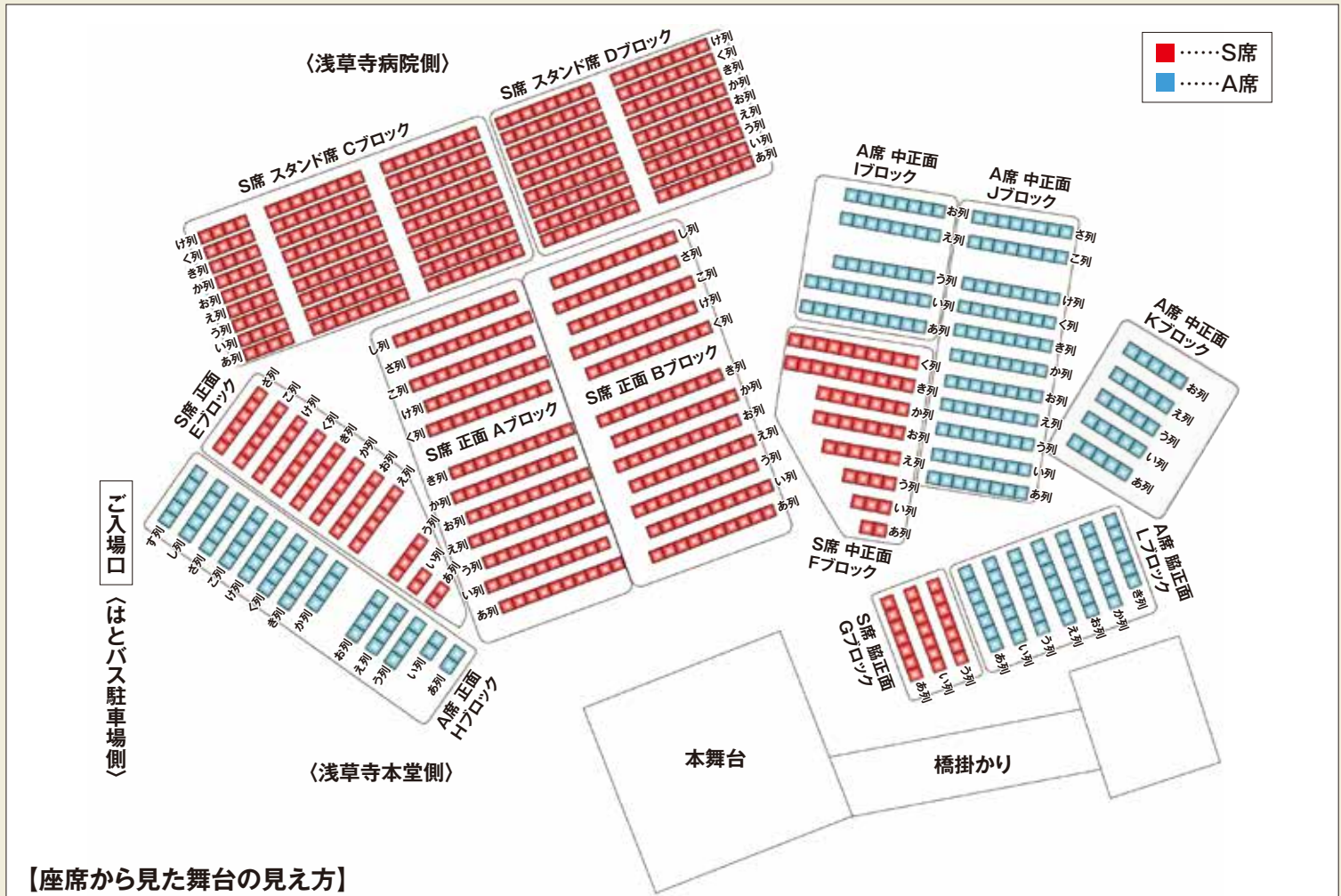
#### 能 『船辨慶』 前後之替

兄の源頼朝と不仲になって、源義経は西国で再起を圖ろうとし、武蔵坊弁慶たちと摂津国大物浦から船出する様子を二場で描きます。

はじめは船出前。義経は密かに愛人の静御前を伴っていますが、それを知った弁慶が制止。静は涙ながらに別れの舞を舞い、義経との再会を願って都へ戻っていきます。やがて船が海へ乗り出すと、はじめは穏やかだった海が急にうねりだして大時化となり、義経たちを翻弄します。時化は壇ノ浦で滅ぼされた平家の仕業でした。平家の総大将平知盛の怨霊が義経たちに襲い掛かります。前シテ静御前と後シテ平知盛という全く違った役柄を、一人で演じ分けるのが大きな見どころになっています。



# 浅草寺境内 座席図(全席指定)



## 【座席から見た舞台の見え方】

### 〈スタンド席から〉

※傾斜があり、舞台全体がよく見える席です。

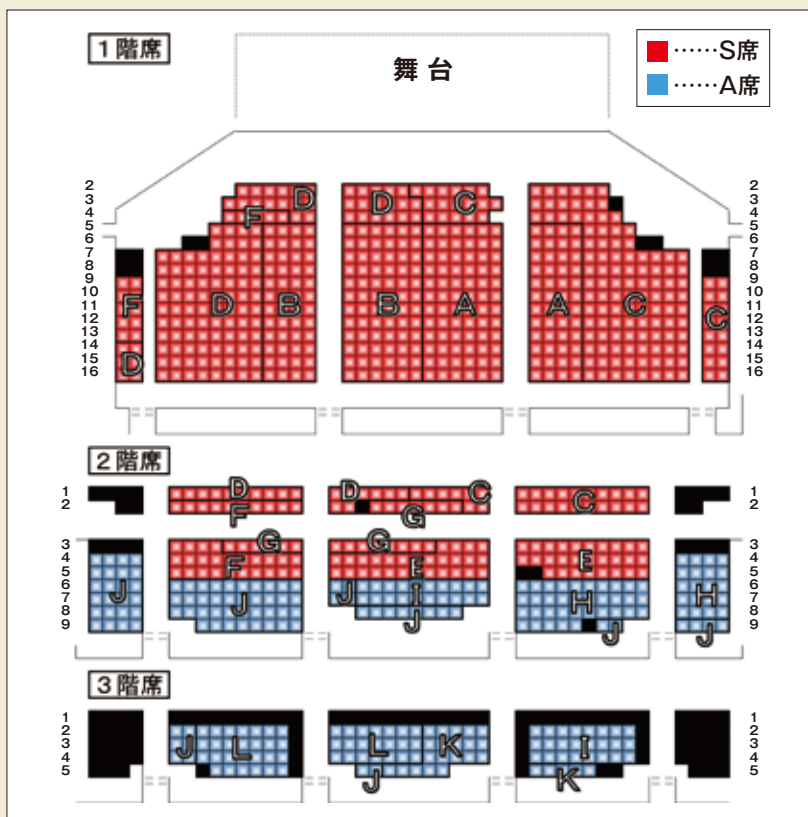


### 〈スタンド席以外から〉

※舞台から近い席です。座席に傾斜がございません。



# 雨天時会場:浅草公会堂 座席図(全席指定)



## 【雨天時の浅草公会堂座席について】

- S席の方は1階席・2階席前方、A席の方は2階席後方・3階席に振替となります。
  - カンフェティで入場券をご購入された方  
会場変更決定時に限り、午後3時30分より浅草公会堂にて、入場券に記載されたブロック・座席番号に対応した公会堂座席指定券を配布いたします。  
※**先着順の配布ではございません**のでご注意ください。
  - カンフェティ以外で入場券をご購入された方  
購入時に公会堂座席指定券をお付けしております。  
雨天時は引き換えの必要はありません。
  - 浅草寺境内の会場にて連番のお席でも、浅草公会堂では横並びにならない、あるいは通路を挟んだお席となる場合がございます。予めご了承ください。
- ※各会場の座席番号及び雨天時における座席詳細につきましては、台東区芸術文化財団ホームページ(<https://www.taitocity.net/zaidan/>)をご覧ください。
- 途中降雨による中止の場合でも、能「半部」終了後は払戻しいたしかねますので、予めご了承ください。

# 台東薪能について

江戸幕府の庇護のもとにあった能楽は明治維新で大打撃を受けます。明治2年、徳川宗家とともに観世大夫も静岡に移りました。混乱のなか江戸に残って能楽を守った一人が初世梅若実です。慶應元年に厩橋の自宅に建てた小さな舞台が復興の拠点の一つになりました(のち篠山藩青山家の江戸中屋敷舞台を移築)。明治8年、上根岸にあった加賀前田家の屋敷に能舞台が作られました。後に染井に移築され長く親しまれます。現在は横浜能楽堂に移築されています。昭和11年、東京藝術大学に邦楽科が設置され能楽も教科の一つになりました。

能楽と台東区とのこうした深い縁があって台東薪能は生まれました。薪能は、本来は春の季節にもなっている神事です。現在は主として、野外の仮設舞台で夜間に篝火を焚いて行われる能の公演を指します。火入れ式。が大きな呼び物ですが、台東薪能では木遣りで火が運ばれるのが他にはない特色です。台東区民が育てて来た薪能を、末永くご支援ください。

(児玉 信)



「過去の公演の様子」撮影：駒井社介



## 能『半部』

能楽師シテ方観世流 観世 喜正

昭和45年、三世・観世喜之の長男として東京に生まれる。2歳半にて初舞台。本拠地の東京神楽坂の矢來能楽堂を中心に、全国各地での公演に多数出演する他、普及活動や講演も多く行なう。慶應義塾大学法学部卒業。公益社団法人観世九卓会理事。公益社団法人能楽協会理事。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、法政大学大学院、皇學館大学非常勤講師。著書「演目別に見る能装束」(淡交社)、DVD「スピカろうそく能」(日本伝統文化振興財団)ほかの主演・作成・監修。



## 狂言『附子』

能楽師狂言方大藏流 山本 泰太郎

埼玉県狭山市出身。故・山本則直の長男。父及び山本東次郎(人間国宝)に師事。昭和51年10月、景英後援会にて狂言「鞠猿」の子猿で初舞台。昭和63年、国立能楽堂開場五周年記念にて「千歳」を披く。平成8年11月山本会別会追善公演にて「釣狐」、17年山本会別会にて「花子」を披く。平成22年度第65回文化庁芸術祭優秀賞受賞。平成23年5月、第15回日本伝統文化振興財団賞受賞。一般社団法人日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、公益社団法人能楽協会会員。



## 能『船辨慶』 前後之替

能楽師シテ方観世流 坂 真太郎

昭和47年、故・坂 真次郎の長男として東京都台東区に生まれる。三世・観世喜之師に師事。昭和50年に初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽専攻を卒業。在学中には「安宅賞」を受賞。平成15年に皇居・桃華楽堂で独鼓「菊慈童」を皇后陛下の御前にて奏演。浅草寺境内での「台東薪能」には、昭和56年より出演。NHK大河ドラマに多数出演。現在、台東区アートアドバイザー、たいとう観光大使、一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、公益社団法人 能楽協会 東京支部常議員。台東区在住。

## 会場周辺案内図



## 金龍山浅草寺境内 台東区浅草 2-3-1

### アクセス

- 東武スカイツリーライン：浅草駅より徒歩 約5分
- 東京メトロ銀座線：浅草駅より徒歩 約5分
- つくばエクスプレス：浅草駅より徒歩 約10分
- 都営地下鉄浅草線：浅草駅A4出口より徒歩 約10分
- 都営バス：浅草雷門より徒歩 約5分
- 台東区循環バス北めぐりん(浅草回り)：二天門、浅草寺北より徒歩 約3分

●会場入口は浅草寺境内観光バス駐車場側となります。

※会場には駐車場がありません。お車は雷門地下駐車場等をご利用ください。(7時~23時 200円/30分)

### 雨天の場合

- 雨天の場合は台東区立浅草公会堂(台東区浅草1-38-6)にて行います。
- カンフェティで入場券をご購入された方  
会場変更決定時に限り、午後3時30分より浅草公会堂にて、入場券に記載されたブロック・座席番号に対応した公会堂座席指定券配布をいたします。※先着順の配布ではございませんのでご注意ください。
- カンフェティ以外で入場券をご購入された方  
購入時に公会堂座席指定券をお付けしております。雨天時は引き換えの必要はありません。
- 途中降雨による中止の場合でも、能『半部』終了後は払戻しいたしかねますので、予めご了承ください。

## ご来場の皆様へのお願い

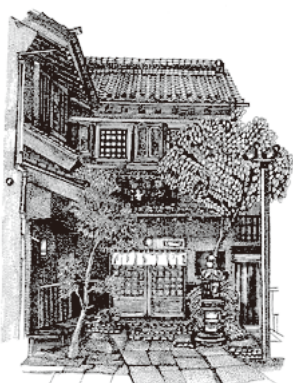
- 未就学児のご入場はお断りいたします。
- 上演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。
- 屋外での開催となりますので、水分補給等の熱中症対策や、虫よけスプレー・長袖の衣服の着用等の虫刺され対策を各自で行なっていただきますようお願いいたします。
- 会場では熱中症対策としての飲み物を除き、飲食はお控えください。

※詳細についてはホームページをご確認ください。



磨き込まれた籐敷に胡座をかいて  
“どぜう鍋”  
一刻文豪気分です。

〒111-0035 東京都台東区西浅草3-3-2 合羽橋本通り 電話：(03) 3843-0881  
営業時間：午前11:30~午後9:00 (水曜日定休)



台東区浅草一ノ三九ノ一三  
(浅草公会堂前)  
電話(三三四)四〇一五(代)  
<http://www.nakasei.biz/>

天麩羅 中 清



幽玄の世界

囃子が誘う、

この国の佳き伝統とともに  
宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売  
[www.miyamoto-unosuke.co.jp](http://www.miyamoto-unosuke.co.jp)